

【今庄宿PJ】第2回全体会のまとめ ～今庄宿プロジェクトとして具体的にに取り組むこと～

《今庄宿の現状・特性》

①資源等

- そば、造り酒屋
- 自然環境、雪
- 鉄道、羽根曾踊り、イベント等
- 昭和会館

②来訪者について

- ・高齢夫婦、若い家族、絵を描く人、写真を撮る人、山に登る人が多い
- ・カフェができて、いろんな人の動きが変わった。お酒1本を買うのに大阪や滋賀から来る人もいる。
- ・マニアックでディープな世界を求める人が多い。水戸天狗党、奥の細道、山本周五郎も人気
- ・高速IC、JRの3駅、アクセスは良い（誘客部会）

③旧旅籠 若狭屋・「coffee&bread 木ノ芽」

- ・旧旅籠 若狭屋の改修を始めてから約1,400人、カフェがオープンして約4ヶ月で、約2,500人が来訪
- ・福井市などの県内のほか、近畿・中部からの来訪者も多い。
- ・「このままで良い、飾らないほうが良い」という意見が多い。

①取り組みの方向性について

生活の視点

私たち住民が快適に暮らせるだけでなく、のどかな自然や歴史に育まれた今庄宿ならではのまちづくりを目指したい。将来の子どもたちを想い、地域で支え合う暮らしや風習、固有の歴史や文化、宿場町ならではの様々な出会いを大切にしながら、暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを進めていきたい。

《具体的な取り組みや進め方に関する意見》

- ・歴史認識、現にあるポテンシャルに付加価値を付ける
- ・宿が整備された江戸時代をメインにし、約700年の歴史の繋がりが見えるまちづくり

観光の視点

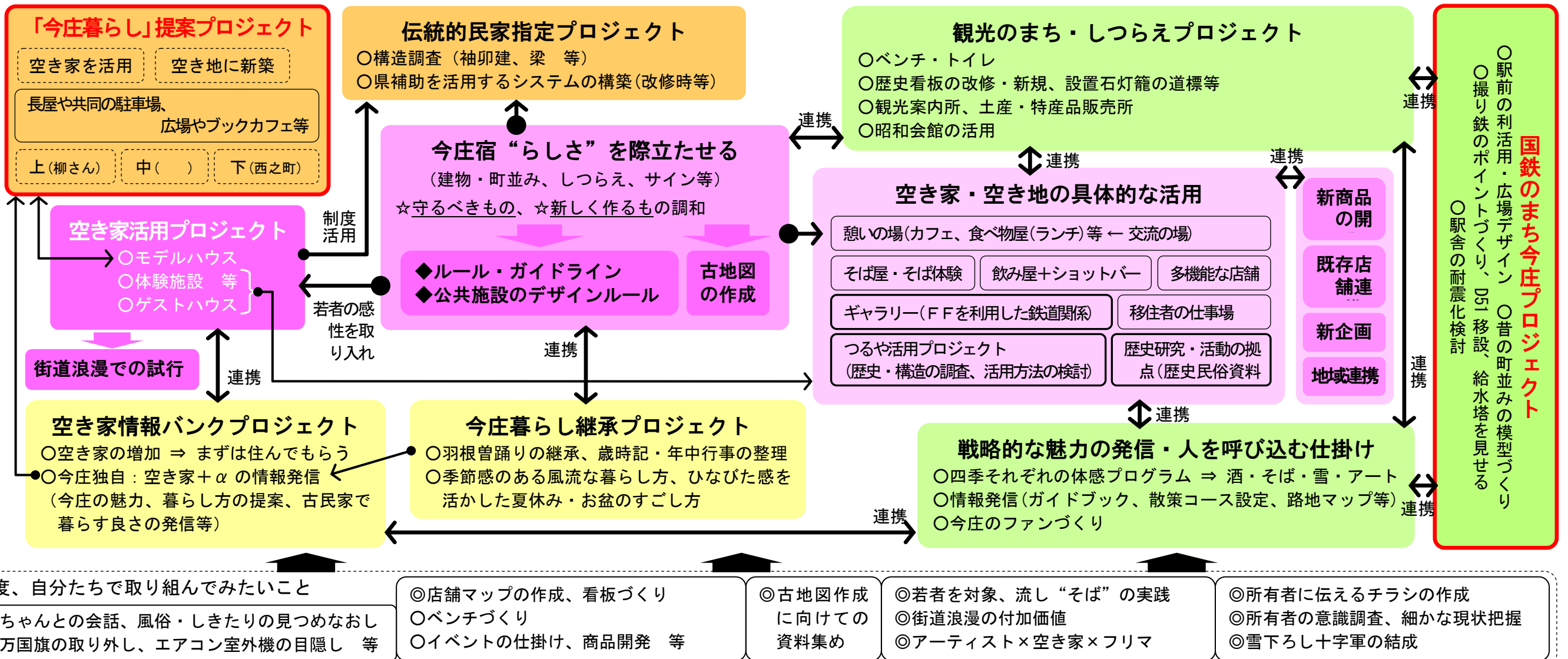
今庄宿の魅力は、何となくノスタルジーを感じるところであり、観光バスで多くの観光客が訪れるような観光地ではなく、ひっそりと、質の高い誘客を目指したい。変に触りすぎずに、着飾らず、今ある資源の魅力をさらに高めることで、人のぬくもりが感じられるまちづくりを進めていきたい。

今庄宿プロジェクト

ハード系

②具体的な取り組み・プロジェクト

ソフト系



■「国鉄のまち今庄プロジェクト（JR今庄駅前の空間整備）」について

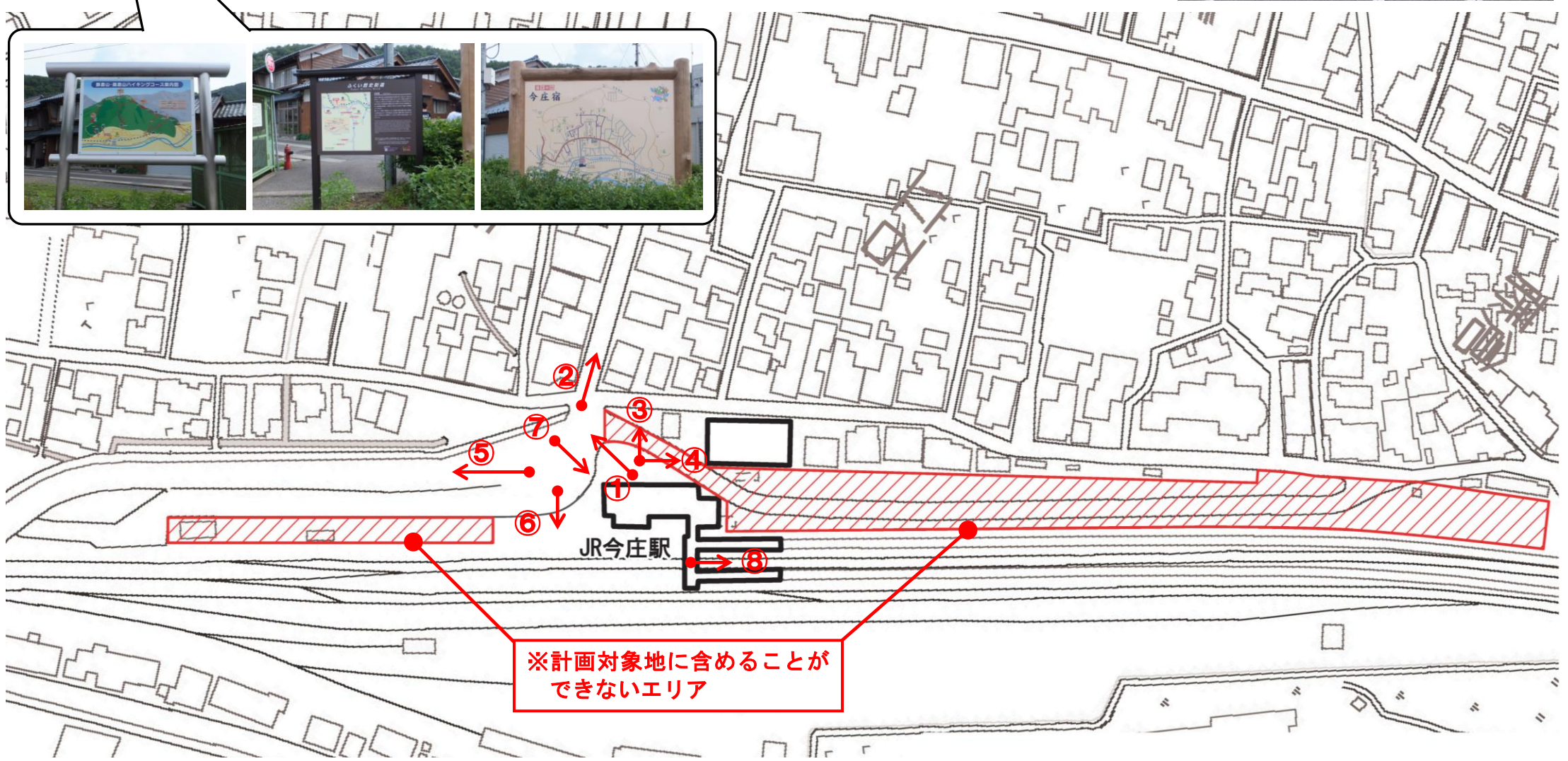
■現状の印象について

- ・現状は**無頓着**すぎる。常夜燈の看板の上に万国旗が飾ってある。
- ・駅前に**看板**は欲しい。この先に何かあるのではという**ワクワク感**が湧かない。**寂しい**。
- ・観光客を案内すると、駅前は**寂しく**、大黒屋の蔵くらいから興味が出てくる。
- ・アミーは少し工夫するだけでうまく使える可能性がある(中はそのまま)。
- ・駅前にあり、看板もそのままなので、来訪者に尋ねられることがある。
- ・駅前は**まちの顔**の一つ。物資部や散髪屋(名物おっちゃんがいた)、旅館、官舎などがあつた写真は数枚しかない。
- ・電車から降りた時に**FFの空き家**が目につく。
- ・**お土産**が駅に少ししかなく、**残念**な感じがする。
- ・駅で電車を待っている人もテレビを見ているだけで、**くつろげるところ**が欲しい。
- ・**前田川**のとおり、駅前のタクシーから旧鯖江縫製の方の景観は趣がある。

■整備の方向性について

(各部会等での意見)

- ・しっかりと**デザイン**する必要がある。
- ・歴史的な雰囲気と異なっても良い。むしろ**新しい雰囲気**のほうが良い。少しずつ新しいものが見える、**変化し続けるまち**のほうが魅力を感じる。
- ・JRの**給水塔**のそばに**ターンテーブル**が埋もれているので、**D51の移設**と連携して活用すべき。
- ・**FF空き家**を共同出資で店舗等に活用できると良い。
- ・JRを越える**陸橋・歩道橋**を作り、カフェなど、線路上から**街並みや国鉄遺産を眺められる場**を作ってはどうか。
- ・京都駅の大階段やヨーロッパの**広場**のように、若い子がたむろする場所があると良い。
- ・この事業の対象にならなくても、**JRに提案**していくことも考えられる。



■「今庄暮らし提案プロジェクト（空き家・空き地を活用した移住者の受け入れの取り組み）」について

■現状について

- ・空き家が約 **40** 件、空き地が約 **20** 件。
- ・現在の時代、これからの時代の**宿場町**として、滞在型の観光も何とか形にしたほうが良い。新しい時代の道や旅に興味がある人も多い。若い人で**ゲストハウス**をやりたい人を募集する手もある。

■優先的に活用を考えたい空き家・空き地

- 40：F F（電車から降りた時に目につく。くつろげるところが欲しい）
- 28：山田氏の空き家（今すぐにでも使えそう。外観も非常に今庄の町家らしい）
- 29：朝倉氏の空き家（本陣として使っていた歴史あり。旅籠らしさが残る）
- 22：斎藤家（歴史的な資料を公開する場所等に使えると良い）
- ⑬～21：西之町の空き家2～3件（空き家、空き地、路地を一体的にデザイン提案）
- 45・46：柳周辺の空き地（子どもの遊び場、家族でくつろぐ場・ブックカフェなど）
- 53・54：等酒蔵近くの空き家（ちょっとしたバーみたいな活用）
- 35：農協（特産品を販売・購入できる場所、観光客と地元が交流できる場所）
- ：アミー（少し工夫するだけでうまく使える可能性がある。中はそのまま）

■空き家・空き地の活用方法

今庄宿で住む・暮らすことの提案

- ・若い夫婦が住める、今庄宿で暮らしてみたい人のモデルとなる家
- ・様々な体験活動や交流の場、移住の受け皿となる場の提案
- ・長屋や共同駐車場、花や畑、広場などほっとする空間
- ・空き家を活用しても良いし、新しく建てても良い（高齢者が長屋に一緒に住むことで、子育てや生きがいづくりにも寄与する）。
- ・景観を守ることに繋がる。
- ・上、中、下くらいにあると良い。

まちなかの飲み屋・ショットバーの提案

- ・空き家を活用できるのが理想的。
- ・4つの造り酒屋の銘柄が並んでいる。
- ・ワンコイン（1 合 200 円＋つまみ 200 円）で飲める。
- ・白駒さんはすでにある。街道浪漫の時だけでもできると良い。

○ゲストハウス

○日本の伝統に繋がる手仕事関係の人の受け入れ

○ギャラリー＋週末の小さなイベント

○アーティストのアトリエとしての活用

○そば屋＋体験の場

○空き地の畑としての活用や多目的に活用できる広場（クライガルテンに）

○今庄宿全体での駐車場

